

【実施報告】

「学校防災交流事業」

「東北交流ボランティア」

教育委員会事務局

教育総務課 学校防災・危機管理班

教育政策課 教育政策班

「学校防災交流事業」の実施

【事業の目的】

宮城県の中学生及び教職員との交流を通して、東日本大震災の記憶の風化を防ぐとともに、被災地の取組に学び、三重県の中学生及び教職員の防災意識と知識の向上を図る。

【主催】 三重県教育委員会

【これまでの実施状況】

H24年度 宮城県から中学生を招き、鳥羽市及び志摩市で「子ども防災サミットinみえ」を開催

H25年度 三重県の中学生及び教職員が宮城県を訪れ、「宮城県現地学習」を実施

H26年度 宮城県から中学生及び教職員を招き、鈴鹿市、津市、志摩市において、各市教育委員会の計画により交流



「平成27年度学校防災交流事業」の概要

宮城県の中学校3校を三重県に招き、いなべ市、松阪市、南伊勢町の3市町において、各市教育委員会が地域の特色を踏まえて立てた計画により、両県の中学生及び教職員が防災学習を実施

【参加市町】

- 宮城県 女川町立女川中学校、石巻市立門脇中学校、東松島市立鳴瀬未来中学校
- 三重県 いなべ市立藤原中学校、松阪市立東部中学校、南伊勢町立南勢中学校

【主な日程】

- 8/3（月） 知事表敬訪問
- 8/4（火） 三重県総合博物館見学
3市町において交流
- 8/5（水） //
- 8/6（木） 伊勢神宮・おはらい町見学



「いなべ市と女川中学校」の交流

【参加校】

○宮城県 女川町立女川中学校(中学生3名、教職員1名)

○三重県 いなべ市立藤原中学校(中学生8名、教職員2名)

【主な日程】

防災に関する取組の交流、セメント工場・採石場、宮の谷川砂防(えん堤)工事現場、篠立の風穴の見学 など



「松阪市と門脇中学校」の交流

【参加校】

○宮城県 石巻市立門脇中学校（中学生3名、教職員1名）

○三重県 松阪市立東部中学校（中学生95名、教職員15名）

【主な日程】

市長表敬訪問、市職員との意見交換、市内フィールドワーク、
防災に関する取組の交流、校区の防災点検 など



「南伊勢町と鳴瀬未来中学校」の交流

【参加校】

○宮城県 東松島市立鳴瀬未来中学校(中学生3名、教職員1名)

○三重県 南伊勢町立南勢中学校(中学生46名、教職員7名)

【主な日程】

町内の地震・津波痕跡見学、防災に関する交流学習会、南伊勢町・志摩地域の防災フィールドワーク など



東日本大震災から4年半

H24年度 「子ども防災サミットinみえ」
H25年度 「宮城県現地学習」

} 県教委の企画

H26年度 鈴鹿市、津市、志摩市で交流学習
H27年度 いなべ市、松阪市、南伊勢町で交流学習

} 各市町教委の企画

【実施の成果】

市町教育員会が作成した計画により交流学習を実施したことから、それぞれの地域の特色や課題を踏まえて交流を深めることができた。



被災地を支援 → 被災地に学ぶ

地域防災プロジェクト

「東北交流ボランティア」の目的

【目的】

鳥羽・志摩・度会地域の各県立高校



南海トラフ巨大地震にて甚大な被害が予想される地域に立地

伊勢志摩地域の中高校生



被災地を訪問

被害の現場を視察

他県の高校生とボランティア活動



大規模な自然災害時に活躍できる人材を育成
郷土愛の育成 自己有用感の向上 地域活性化

【企画にあたって留意した点】

- 本物を体験する
- 自分たちにできることを考える
- 縦割りを意識する
- 体験を伝える

【参加者】

- 高校生 21名 鳥羽高校、志摩高校、水産高校、南伊勢高校(南勢校舎・度会校舎)
- 中学生 13名 伊勢市立中学校(5校)、志摩市立中学校(2校)
- 大学生 6名 四日市大学、四日市看護医療大学

【主な日程】

- 8/2(日) 事前学習会
- 8/4(火) 出発式、仮設住宅宿泊
- 8/5(水) 仮設住宅にてボランティア
- 8/6(木) 津波被害の視察(宮城)
他県の高校生と交流
- 8/7(金) 原発被害の視察(福島)
- 8/19(水) 事後学習会



「東松島市矢本運動公園仮設住宅」での交流

【主な活動】

- 集会所での寝袋宿泊体験
- 炊き出し訓練



「仮設住宅でのボランティア活動」

【主な活動】

- 個別見廻り訪問
- 巨大流しそうめん交流会



「被災地視察」

【宮城での主な訪問先】

○旧大川小学校 ○大曲浜

【福島での主な訪問先】

○南相馬市小高区 など

○女川地域医療センター など



「他県の生徒との交流」

【宮城県石巻西高校にて交流学習会を実施】

○宮城県石巻西高校の生徒

○兵庫県立舞子高校地域防災科の生徒とグループワーク

テーマ:「もし今災害がおきたら自分たちにできることは何か」



【実施の成果】

○リアルな体験によって生きる力をつける

○託されたこと「体験した事を地元で伝えてほしい」

・・・参加者の学校、市町にて報告会を実施予定・・・反すうを意識

